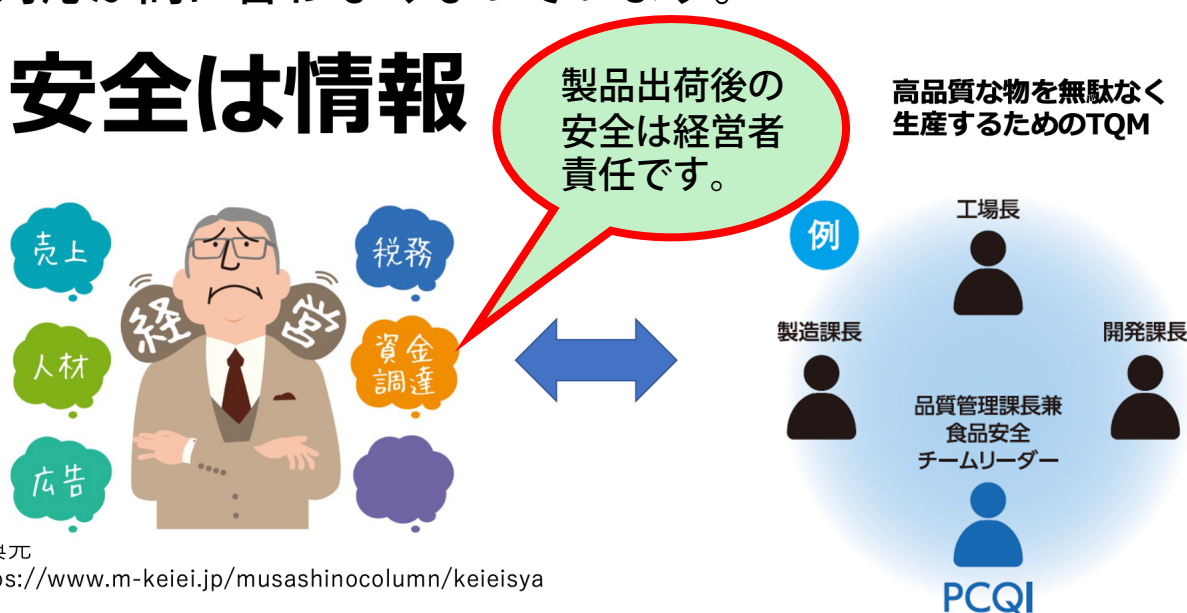


# 製品安全対策セミナーと講習 (取説と表示)

社内体制整備の総点検を開始しましょう。

安全安心、品質の基本が製造側任せになっていませんか。  
驚異的な物流スピードにより、品質異常が発生した時の  
対応が間に合わなくなっています。

## 安全は情報



出典元  
<https://www.m-keiei.jp/musashinocolumn/keieisya>

産業機械から部品、食品原材料や飲料、医薬品、あらゆるものが関係する  
PL対策は品質管理の基本なのです。

**2026年1月から大きな動きがあります！**

- PL法の改定
- 取扱説明書や警告表示のJIS (ISO/IEC) の改定
- 流通小売のバーコードの2次元シンボル移行
- FSMA204食品トレーサビリティ
- 製品安全自己宣言制度でのトレーサビリティなど

**取扱説明書ガイドライン著作者と  
皆様との対面 (zoom) の講習です。**



# セミナーと講習の詳細

## 無料セミナー（60分）

- ・ 毎月第2・4水曜日15時～16時にハイブリッドで開催します。
- ・ 会場参加者が多い場合は会場を別途変更することがあります。
- ・ 品質管理とPL対策の相関性を習得してください。PL対策は製品事故未然防止の重要な取り組みで、これを正しく理解し自社の品質管理のマネジメントに反映することが重要です。



## 有料講習（一人55,000円で下記の内容になります）

- ・ 毎月第2・4水曜日16時～17時30分にハイブリッドで開催します。
  - ・ 会場参加者が多い場合は会場を変更することがあります。
  - ・ 取扱説明書や製品本体表示などの点検から始まります。
- 内容は下記の通りでセミナーにて詳しく説明します。

### 初回講習とフォローアップ

「取扱説明書ガイドライン2022」を事前にご用意いただきます。お持ちでない方は先にご購入ください。その内容に基づいて自社の取扱説明書や本体表示を点検していただきます。各社それぞれの規定などが異なるので参加者と講師との直接的質疑のzoom会議（60分）を行います。回数は最大2回までです。

### 2回目講習とフォローアップ（初回講習、フォローアップ履修者）

初回講習と自社での点検をおこなったことで、ガイドラインのより深い部分での講習を行います。特に、危険の洗い出し（リスクアセスメント）についてはガイドラインに沿って説明します。講習では他社の方も参加しますので守秘することがあれば、zoomのメッセージでお問い合わせください。内容により終了後に場を設営します。

目標は国の最新の指標を達成することです。

## 経済産業省[製品安全自主宣言制度]に注目！

[https://www.meti.go.jp/product\\_safety/ps-award/jikosengenn.html](https://www.meti.go.jp/product_safety/ps-award/jikosengenn.html)

- ・ 経営者の責任
- ・ 設計時にリコールや廃棄する方法なども組み込むこと
- ・ デジタルトレーサビリティが必要になります。

食品も同様の取り組みです。  
GAPやHACCPとは重複しません。



自己宣言チェックシート（製造事業者・輸入事業者向け）	
質問事項について、該当するいづれか一つを選択して下さい。	
1. 製品安全管理態勢の整備・維持・改善	
1-1. 製品安全管理態勢の整備・維持・改善（総則）	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
1-2. 経営者の責務	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
2. 製品安全に関する方針・目標・組織体制の整備	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
3. 製品安全に関する組織体制の整備	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
4. 製品安全に関する業務フローにおける取組	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
5. 製品安全に関する情報管理	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ
6. 製品安全確保に向けた具体的な取組	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> どちらかといえばはい <input type="radio"/> どちらかといえばいいえ <input checked="" type="radio"/> いいえ

このチェックシートの項目を全て満足できることが目標になります。



## 講習により得られること

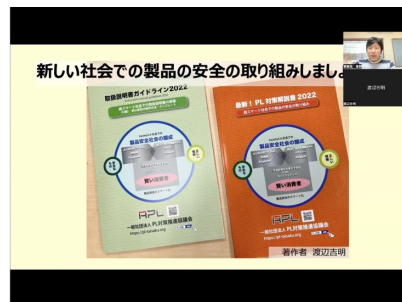
- 万一の品質異常時、特に重大事故などの予見ができるようになります。
- そのことを優先した設計から製造、品質保証などの連携により、経営者から従業員、取引先などとの信頼関係が強化されます。
- 取扱説明書の有効的な利用、その知財の模倣抑止効果
- 取引先の負担を軽減する取り組みとして可視化できる取扱説明書、表示や広告などで成果が反映され市場競争力が強化されます。
- PL検定を利用した持続可能な組織の基盤が構築できます。
- 期間内に完成した社内規定については著作者が直接確認し、許諾を判断します。

## お申し込みについて

セミナーはどなたでも参加できますが「取扱説明書ガイドライン2022」をお持ちの方を対象にした有料講習のご案内になります。この書籍は複写複製転記転用を全て禁止しています。受講する方はご自身でガイドラインにマーキングや書き込みできるようにお手元にご準備いただきます。



書籍の説明動画をご参照ください。  
著作者からのメッセージです。  
[https://apl.or.jp/?page\\_id=2396](https://apl.or.jp/?page_id=2396)



ガイドラインの購入は  
[https://apl.or.jp/?page\\_id=2396](https://apl.or.jp/?page_id=2396)



## セミナー申し込みはこちらから

<https://forms.gle/KoZTEoaDS2aoqyje8>

## 有料講習申し込みはこちらから

(請求書、領収書が必要な方はお申し出ください)  
<https://forms.gle/YCnVJ9skazTPphMQA>



<https://apl.or.jp>

一般社団法人 **APL-Japan**

本部：〒173-0013 東京都板橋区氷川町47-4 アビタシオンK 1F

事務局：〒982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町35-28

TEL：050-6865-5180 FAX：022-247-8042 Email [office@apl.or.jp](mailto:office@apl.or.jp)